

# 社会的なバリエーション 4

---

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所

南 雅彦

# 地域方言から社会方言(階級差)へ

- William Labov
  - 社会階層と発音変異の関係
    - マーサズ・ヴィニヤードの発音(フィールド)調査
    - ニューヨーク市の発音(フィールド)調査
- Basil Bernstein
  - 言語変異と社会階層の関係
    - 上流・中流階級
      - 精密・洗練コード(elaborated code)
    - 下層労働者階級
      - 限定コード(restricted code)

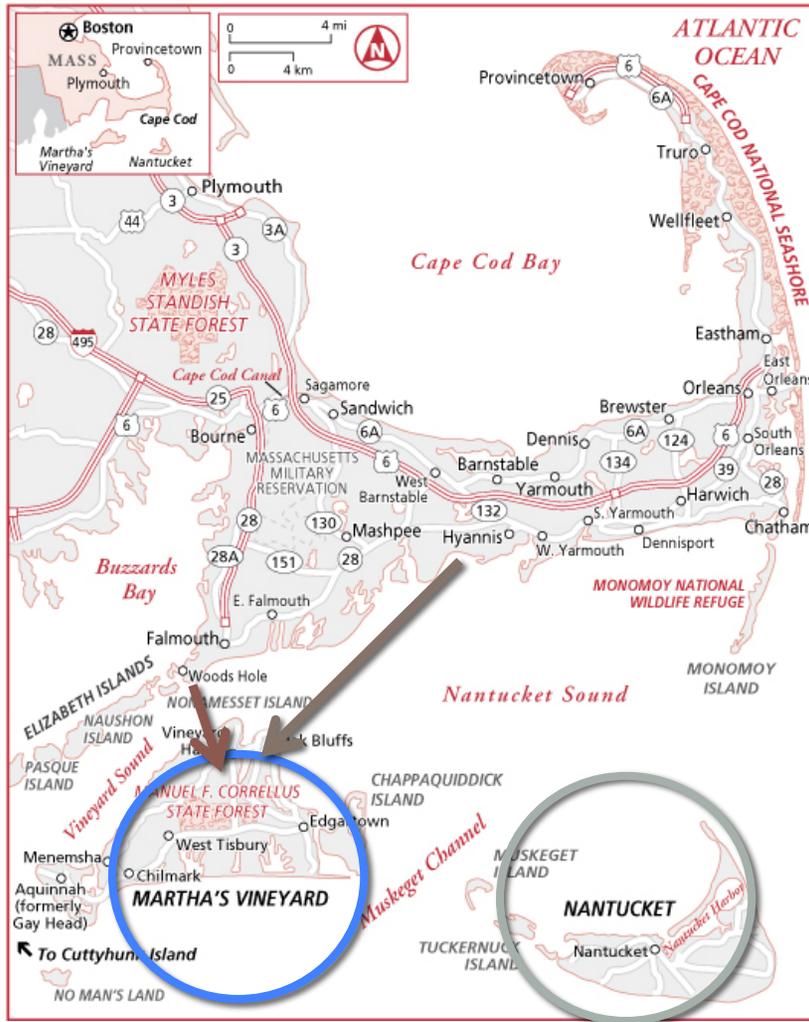
# 地域方言から社会方言(階級差)へ

- William Labov
  - 社会階層と発音変異の関係
    - マーサズ・ヴィニヤードの発音(フルド)
    - ニューヨーク市の発音(フィールト)
- Basil Bernstein
  - 言語変異と社会階層の関係
    - 上流・中流階級
      - 精密・洗練コード(elaborated code)
    - 下層労働者階級
      - 限定コード(restricted code)

## Gilesら

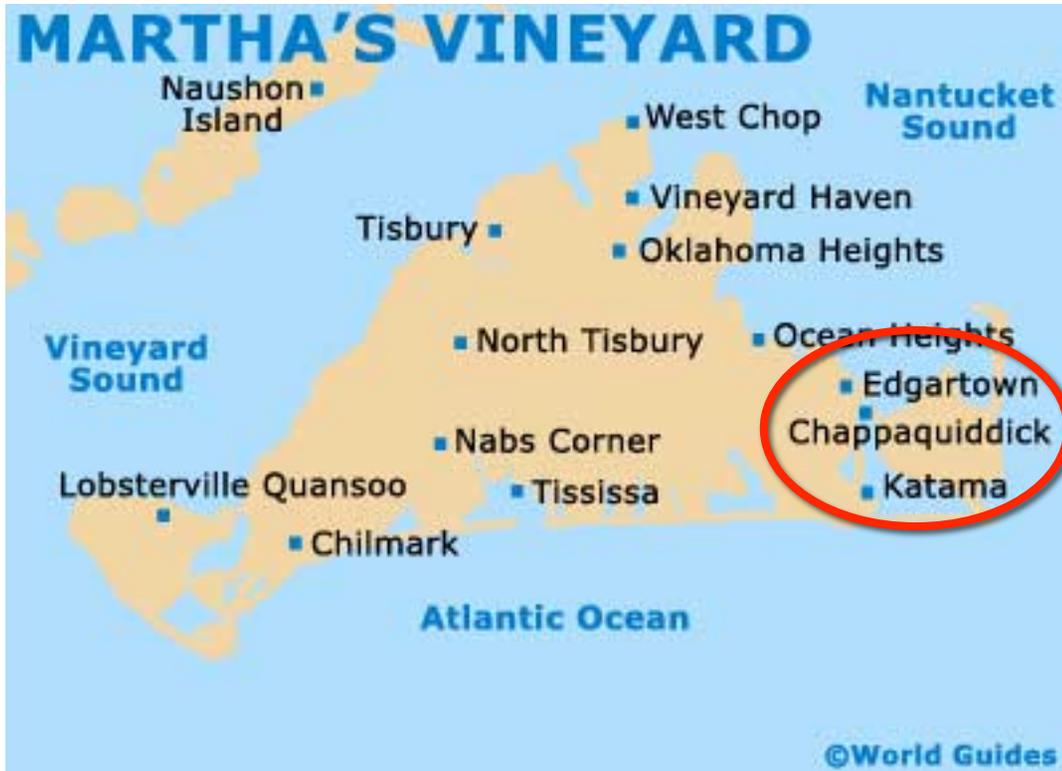
(Giles, Coupland, & Coupland, 1991; Giles & Powesland, 1975)は Labovの研究を対人関係の調節過程として検証し、**スピーチ・アコモデーション理論**を提唱

# マーサズ・ヴィニヤード島



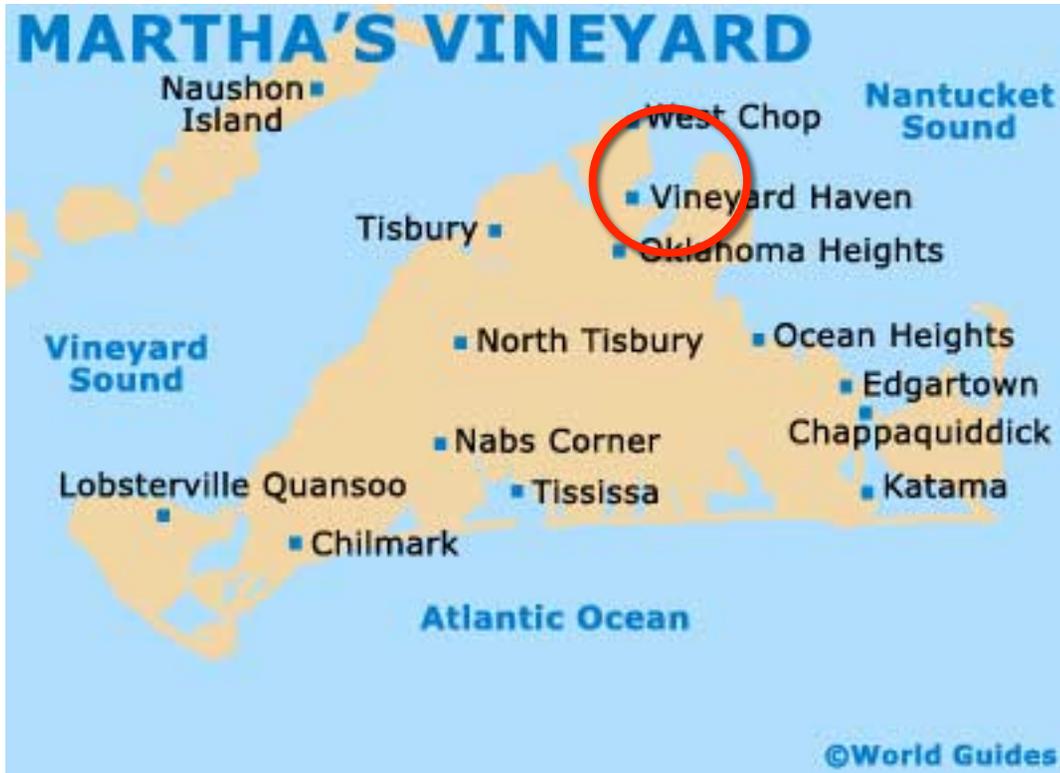
- ハーマン・メルヴィル(Herman Melville: 1819–1891)の長編小説『白鯨』(1851)で有名なナンタケット島と同様に、マーサズ・ヴィニヤード島は19世紀に捕鯨業の基地として栄え、鯨油と脂肪を求めて捕鯨船を世界中に送り出した。
- マーサズ・ヴィニヤードはケープコッドの南海岸から約3.5マイル (6 km)の距離にある。ウッズホールから出るフェリーで行き来でき、他にもファルマス、ニューベッドフォード、ハイアニスおよびロードアイランド州のクオンセットポイントからフェリー便がある。

# マーサズ・ヴィニヤード島



- 1969年7月18日、メアリー・ジョー・コペクネを乗せたエドワード・ケネディ上院議員の運転する車が橋から落ちて、コペクネを死なせてしまい、世界的话题を呼ぶ。
- 1974年、スティーヴン・スピルバーグは、映画『ジョーズ』をマーサズ・ヴィニヤードで撮影。
- マーサズ・ヴィニヤードを頻繁に訪れる著名人は、バラク・オバマ大統領一家・ビル・クリントン前大統領、ヒラリー・クリントン、コメディアンでトークショーの司会者デイヴィッド・レターマンなど。

# マーサズ・ヴィニヤード島



- ・ マーサズ・ヴィニヤードはアメリカのアフリカ系アメリカ人上流階級の伝統的なリゾートでもある。1世紀以上前から多くの黒人家族がここでの休暇生活を始めた。マーサズ・ヴィニヤードの黒人文化の中心は、オークブラフスであり、多くのアフリカ系アメリカ人著名人が家を所有。
- ・ マーサズ・ヴィニヤードは、アメリカ東北部の最も有名な避暑地となり、今日まで、多くの著名人を惹きつけてきた。

# マーサズ・ヴィニヤード島

- マーサズ・ヴィニヤード方言の変遷について(Labov, 1963)

- 陸続きの隣接地域のあるところと異なり、地理的に独立した単位を形成しているので、言語調査に適している。
- どのような人々が島独自の発音を維持し、どのような人々がボストン・スタイルの発音をするようになったのか。

- マーサズ・ヴィニヤード島民は、英国系、ポルトガル系、ネイティブ・アメリカン、その他(フランス系カナディアン・アイルランド系・ドイツ系・ポーランド系などを含む)に大別される。

# マーサズ・ヴィニヤード島

- マーサズ・ヴィニヤード方言の変遷について(Labov, 1963)

Labov(1963)は、島のこうした人口構成を考慮して、被験者(インフォーマント)69名(当時の島の人口の1パーセント強)を選び出し、インフォーマントに、たとえば次のような文章を声に出して読ませ、質問に答えさせるという調査を行なった。

“When we speak of the *right* to *life*, liberty and the pursuit of happiness, what does *right* mean? ... Is it in *writing*? ...  
If a man is successful at a job he doesn't *like*, would you still say he was a successful man?” (p. 283)

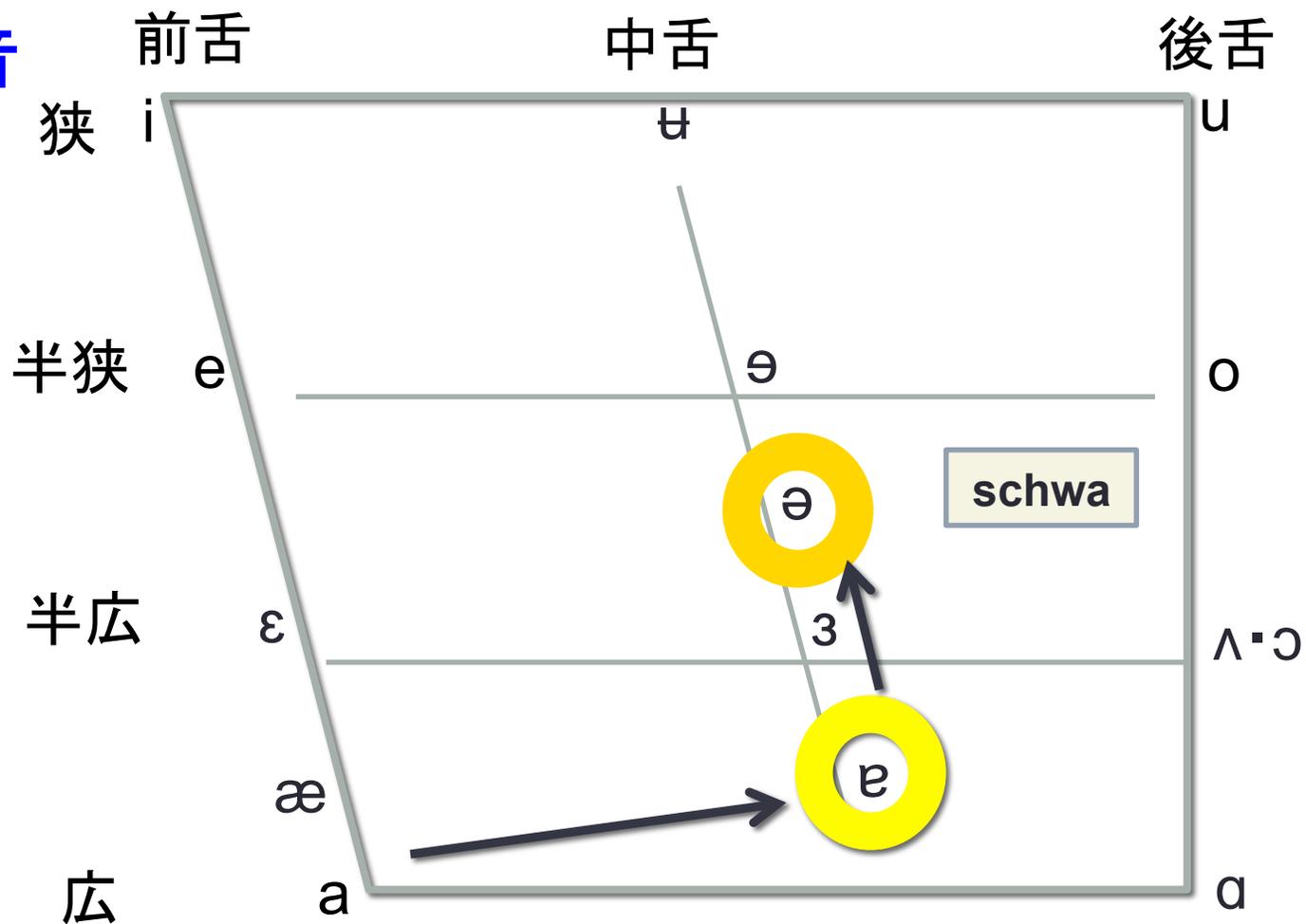
- マーサズ・ヴィニヤード島民は、英国系、ポルトガル系、ネイティブ・アメリカン、その他(フランス系カナディアン・アイルランド系・ドイツ系・ポーランド系などを含む)に大別される。

# マーサズ・ヴィニヤード島

- マーサズ・ヴィニヤード方言の変遷について(Labov, 1963)
  - インフォーマントが読む文章、回答には調査したい発音、/r/や“life” “like” “out”などに見られる**2重母音** (diphthongs) /ai/と/au/ (もしくは/ay/と/aw/)を含めないと答えられないように調査デザインをしてあった。
  - /ai/や/au/のような**2重母音**では通常[a]となるが、これがどの程度まで**中舌化** (centralization)、すなわち[e] や [ə]になっているかを調査しようとした[注: 中舌母音(なかじたぼいん・ちゅうぜつぼいん)は、前舌母音と後舌母音の中間に位置すると定められた母音を指す。[e]は中舌狭めの広母音で、[ə]は一般にシュワー(schwa)と呼ばれる中舌中央母音である。]。

# 中舌化

- 母音



# マーサズ・ヴィニヤード島

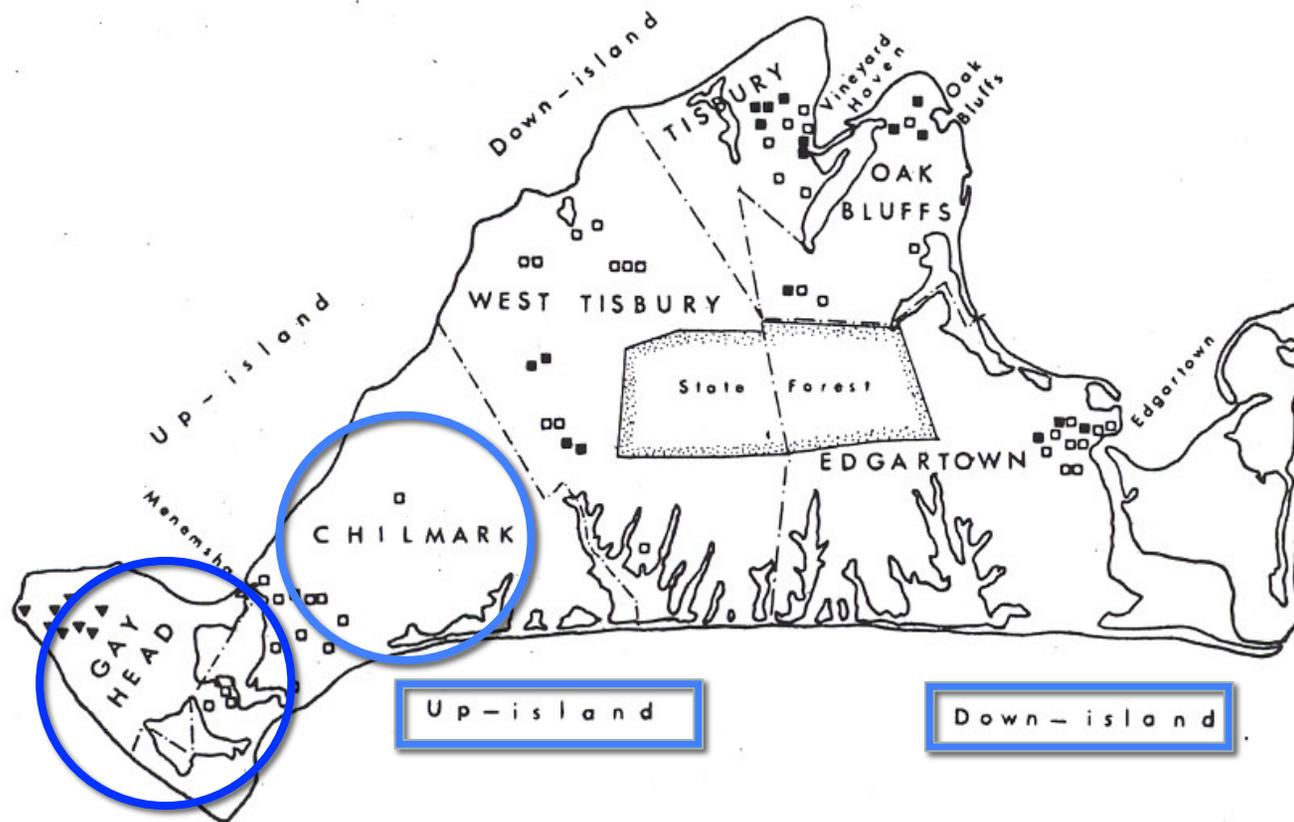


FIGURE 1. Location of the 69 informants on Martha's Vineyard. Ethnic origin of the informants indicated by the following symbols: □ English, ■ Portuguese, ▼ Indian. Symbols placed side by side indicate members of the same family.

# マーサズ・ヴィニヤード島

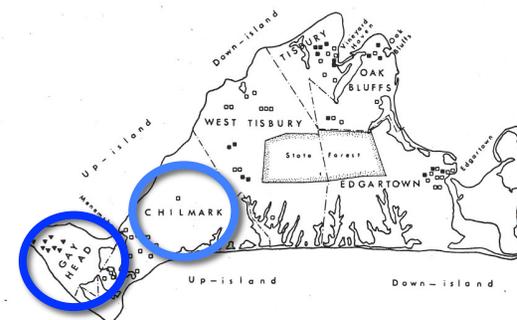


FIGURE 1. Location of the 69 informants on Martha's Vineyard. Ethnic origin of the informants indicated by the following symbols: □ English, ▴ Portuguese, ▼ Indian. Symbols placed side by side indicate members of the same family.

- **中舌化**はチルマークの漁民(英国系)から始まり、若者は(マーサズ・ヴィニヤードの言語的特徴である)**中舌化**の度合を増していった。
- 島を出て、本土に行く若者の間では**中舌化**の度合が低く、島に残って生計を立てる若者の間では**中舌化**の度合が高い。
- ポルトガル系で島に残る若者や、ゲイヘッドに住むネイティブ・アメリカン住民でも、**中舌化**は多い。
- **中舌化**を強めて、本土住民との違いを音声的に際立たせる(社会的動機)。
  - 心理的拡散 ↔ 言語的拡散